



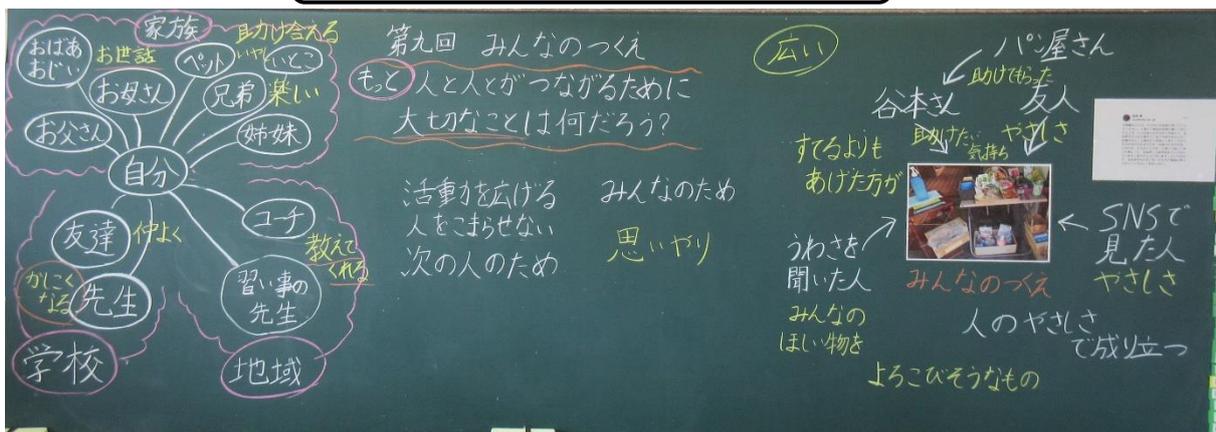
今号では、5年生の参観授業の様子を紹介させていただきます。

5-1 「日本の心とかたち」



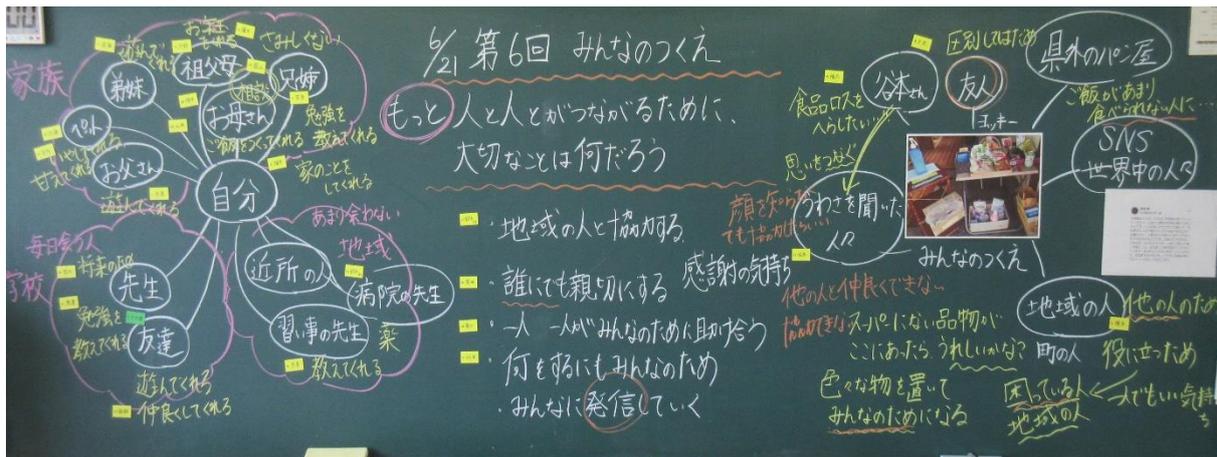
- 心は見えないけど、心遣いに見える。思いは見えないけれど、思いやりに見える。授業を聞いていて、こんな言葉を聞いたことがあるなど思い出しました。みんなで意見を出し合って、1つにまとめていく過程がとても素敵だなと思いつつ見えてきました。
- 自分の心を相手に伝えること、伝わるようにするためにはどうすればよいのか、子供達が自分の意見をたくさん発表することができていて素晴らしいと思いました。相手の仕草・行動から感じること、相手の気持ちに気付くことの大切さを学ぶことができたのではないかと思います。

5-2 「みんなのつくえ」



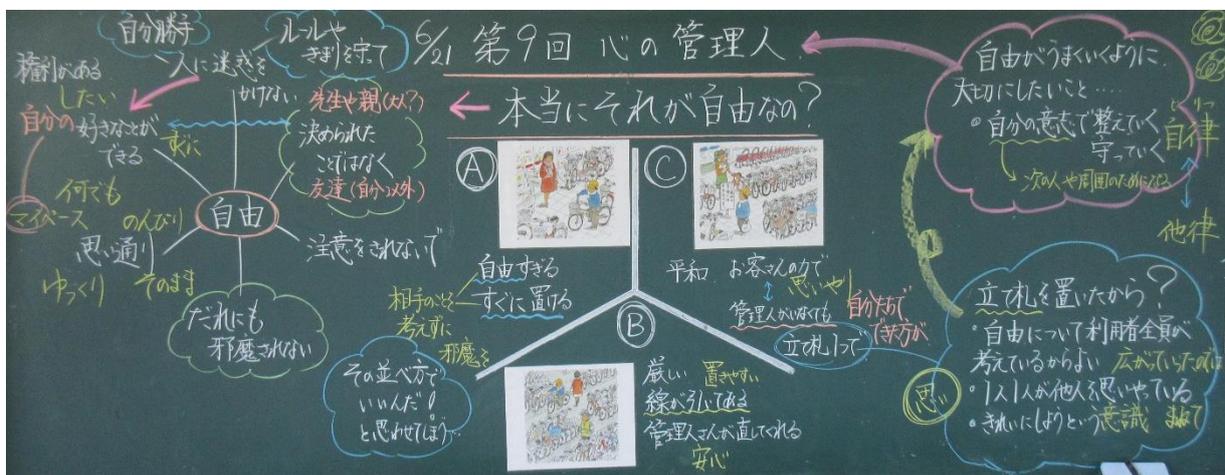
- 子供達の考えることもしっかりしているのだなと思いました。身近にあることで、当たり前のように過ぎていて深く考えたこともなかったかも…。人のやさしさって何なのか…。未だに難しいです。内容によって変わってしまうやさしさ…。奥深いですね。人の考えや思いはそれぞれ違うから、本当にいろいろなことがありますね。とても考えさせられた時間でした。
- 子供達にとって、難しく、とても考えさせられる内容だったと思いますが、優しさだけではないことや良いことをするとそれが知らない人へとつながり大きくなっていくということを知ることのできた授業であったと思います。当然、私も何が正解なのだろうと考えた授業になりました。

5-3 「みんなのつくえ」



- 人と人のつながりを考える素敵な授業でした。自分に関わってくれる方々に改めて感謝しようという気持ちが芽生えるのではないかと思います。帰ってきた息子に、「母さん、いつも家のことをしてくれてありがとう」「父さん、いつも仕事お疲れ様です」と言われて、心がふわっとなり、うれしく思いました。大変有意義な授業に参加させていただき、ありがとうございました。
- 人とのつながりが希薄になっていく現代に、ぴったりな内容だと思いました。子供たちも狭いつながりの中で生活していたことを実感していました。思いやりに溢れたあたたかい地域や社会で過ごすことができれば、どんなに素晴らしいだろうと思います。そのような社会を子供たちとともに、つくっていきたく感じました。

5-4 「心の管理人」



- 興味深いテーマで、自宅でも子供と話しました。始めに想像していた「自由」から、クラスの皆とディスカッションを深めていくうちに、「自由」には楽しさや解放感もあるけれど、それには幅があり、人に迷惑をかけるのは少し違う気もするという気付きを得られていて感心しました。先生が最後に問いかけていた「ルールと自由」についても、ルールがあることで、「楽しさ」や「気持ちよさ」、「安心」があって、それらが自由にも繋がるのではないかなど、子供自身で考えることができていました。
- 「自由」と「自律」は反対だと子供達が認識していると思っていました。授業を通して、「自由」を手に入れるためには「自律」が必要だということに子供達が気付き、発表している姿に驚くとともに感心させられました。これからの生活で授業のような状況になったとき、授業で感じた自律の大切さを思い出して判断して欲しいです。

